

キーボード(コンピュータ)の違いについて

コンパクトキーボード編

2019/08/28 株式会社あいはら 研究開発チーム
山田 泰司 <taiji@aihara.co.jp>



Apple Magic キーボード JIS 配列

¥9,800、2019年現在

コンパクトキーボードは、ノート PC とほとんど同等のレイアウト

この JIS 配列の特徴としては、刻印が「→|, ^, ⇐, ↵, ⌈, 合」等の技術用記号が多用されていること。

controlキーが **A** キーの直左。Windows マシンにある「漢字キー」は存在しない。⌘+` で「漢字キー」(右側にある) fn+その他キーが、別のキー等の機能に割り当てられていたりする。

右側 ⌘=⌘が存在しない
(まず支障はないはず)



Apple Magic キーボード US 配列

¥9,800、2019年現在

コンパクトキーボードは、ノート PC とほとんど同等のレイアウト
この US 配列の特徴としては、「**⌘**, **⌃**」が Windows と逆であること。

controlキーが最下段！

(左側にある) fn+その他キーが、別のキー等の機能に割り当てられていたりする。

⌘+` で「漢字キー」



Microsoft Surface キーボード JIS 配列

¥17,712、2019年現在

コンパクトキーボードは、ノート PC に近づけたレイアウト

この JIS 配列の特徴としては、「\, ¥」キーが独立していること。Mac では「 $\backslash + \yen$ 」で「\」

controlキーが最下段！

(左側にある) fn+その他キーが、別のキー等の機能に割り当てられていたりする。



Microsoft Surface キーボード US 配列

¥17,712、2019年現在

コンパクトキーボードは、ノート PC に近づけたレイアウト

この US 配列の特徴としては、フルキーボードの「**⌘**、**↵**、**↩**、**⌘**、**⌘**、**Ins**」が JIS と異なる！

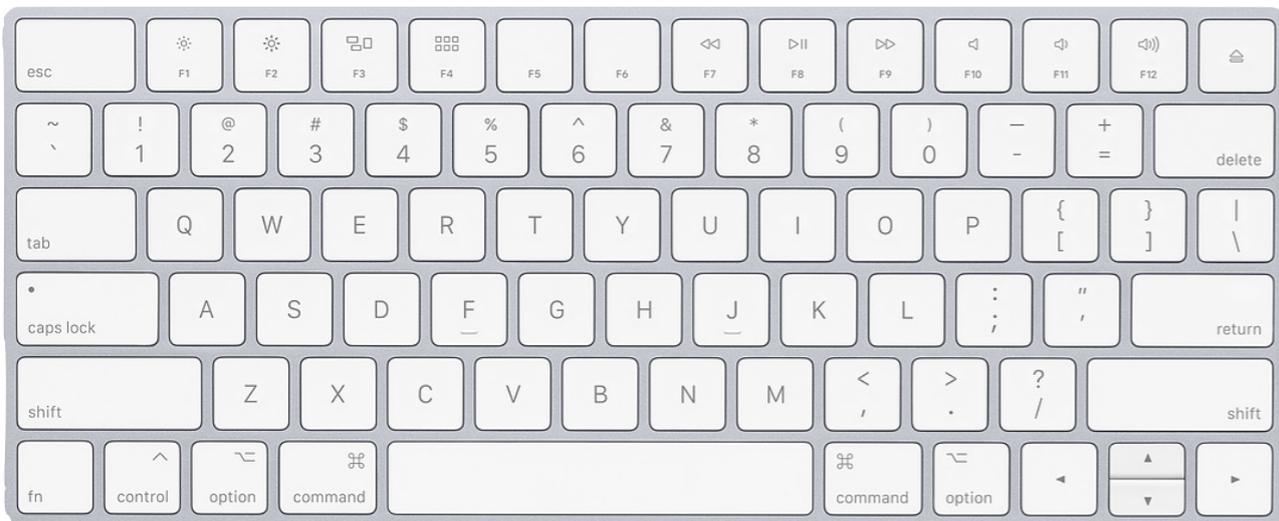
controlキーが最下段！

(左側にある) fn+その他キーが、別のキー等の機能に割り当てられていたりする。

Mac と Windows のキーボードの違い



Apple Magic キーボード JIS 配列



Apple Magic キーボード US 配列

JIS 配列と US 配列のキーボードの違い



Microsoft Surface キーボード JIS 配列



Microsoft Surface キーボード US 配列

Mac と Windows のキーボードの違い



Apple Magic キーボード JIS 配列

- 漢字キー、変換キー
- control と caps lock キー
- option/alt キー

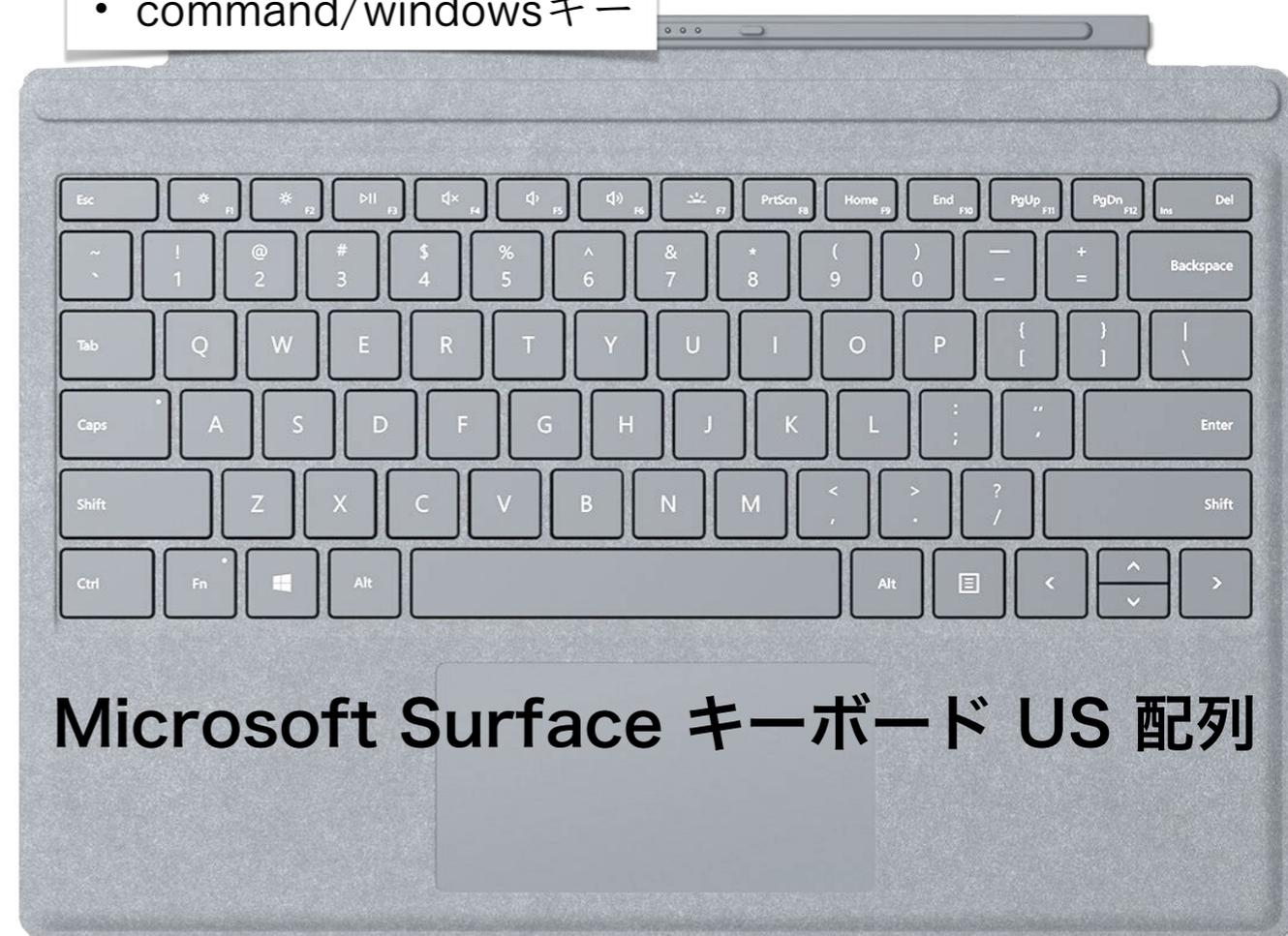


Microsoft Surface キーボード JIS 配列

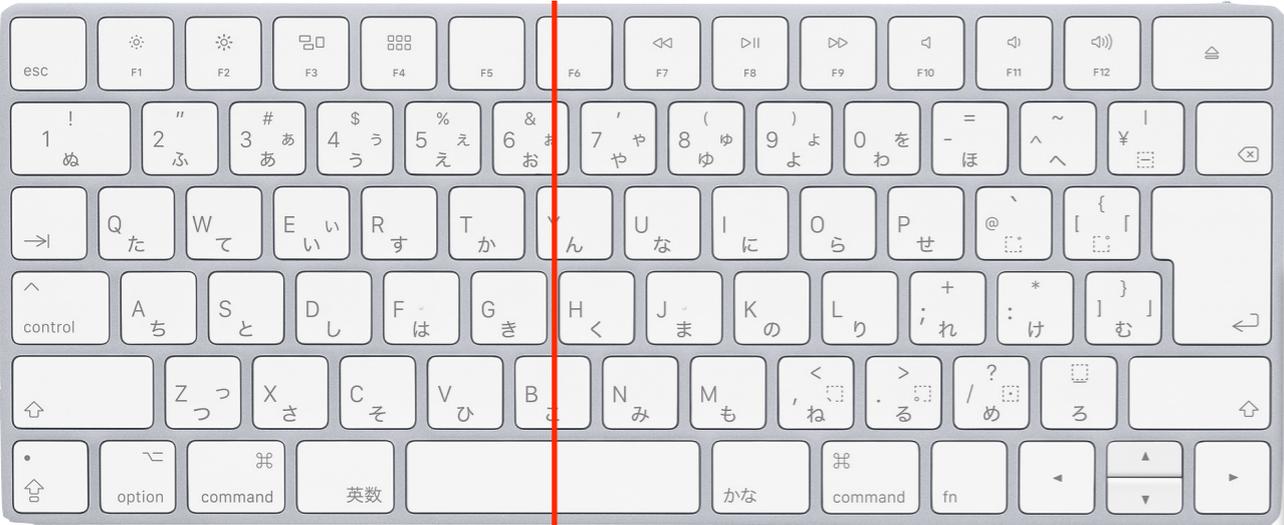
- fn キー、メニューキー
- del キー
- command/windows キー



Apple Magic キーボード US 配列

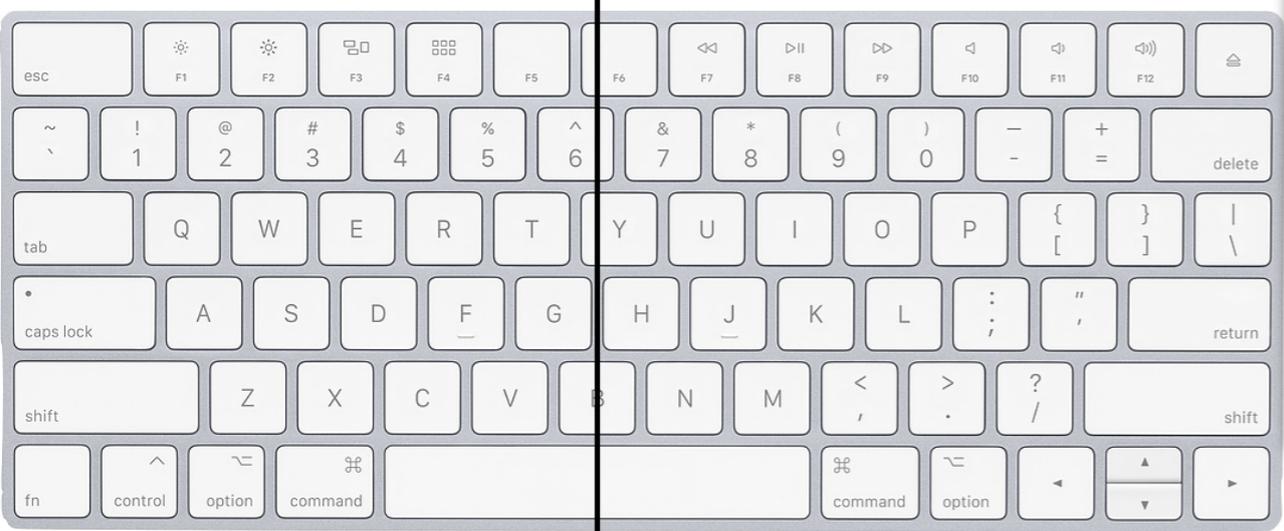


Microsoft Surface キーボード US 配列



Apple Magic キーボード JIS 配列

- 漢字キー、変換キー
- controlとcaps lockキー
- option/altキー、fnキー



Apple Magic キーボード US 配列

JIS 配列と US 配列のキーボードの違い

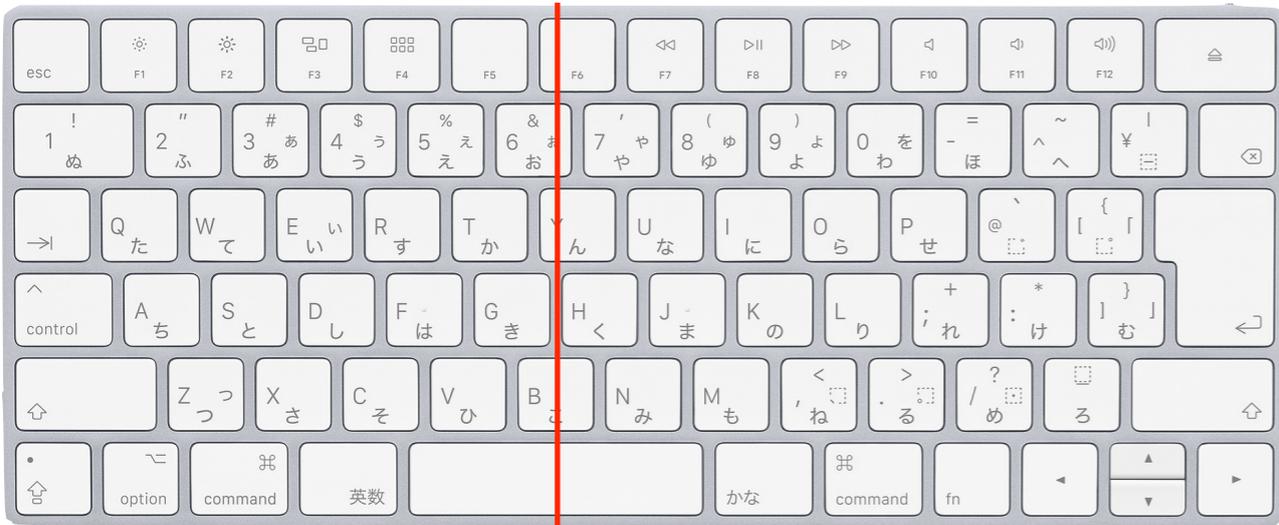


Microsoft Surface キーボード JIS 配列

- 各種記号キー、return/enterキーのサイズ
- Mac+JIS の場合、著しくホームポジションが左！
- Windows の場合、いくつかの記号キーのサイズ



Microsoft Surface キーボード US 配列



Apple Magic キーボード JIS 配列

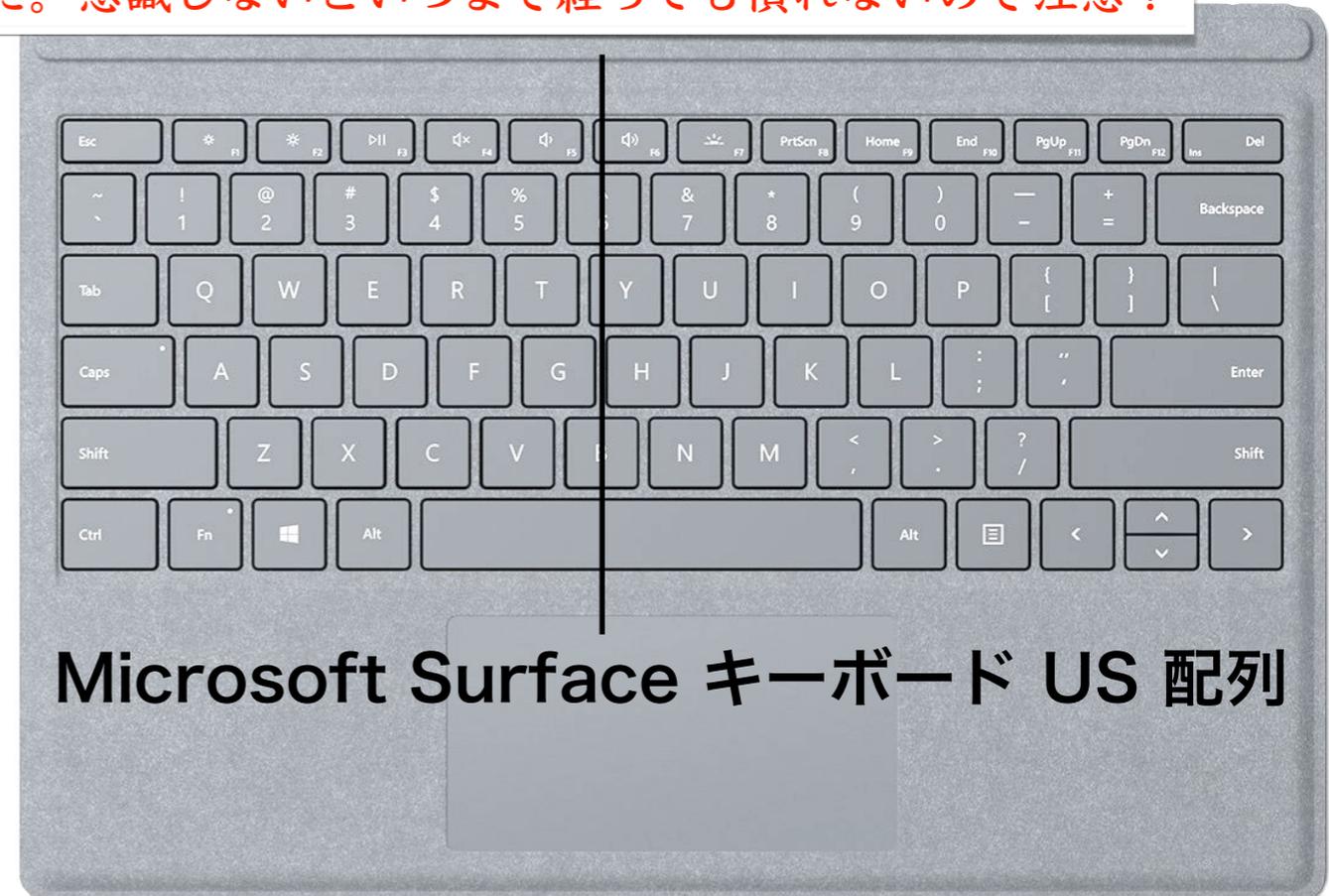
- ctrl/caps lockやcommand/windowsキーなどの差異は、設定を変更出来たりする。
- ゆえに Mac/Windows の差異は慣れの問題もあるが、特に問題がない。
- US/JIS の配列の差異についても、あえてそれを選択している訳だし、意外と慣れやすい。
- 問題は、**Mac+JIS 配列のホームポジションの位置だ。意識しないといつまで経っても慣れないので注意！**



Apple Magic キーボード US 配列



Microsoft Surface キーボード JIS 配列



Microsoft Surface キーボード US 配列



Unix - PFU Happy Hacking キーボード JIS 配列 (かな無刻印)

¥27,500、2019年現在

コンパクトキーボードは、ノート PC とほとんど同等のレイアウト

この JIS 配列の特徴としては、「\, ¥」キーが独立している、「漢字キー」が最下段 ◇キーの左のキー
controlキーが **A** キーの直左。

(両側にある) fn+その他キーが、別のキー等の機能に割り当てられていたりする。fn+最上段キーで F1~F10キー



Unix - PFU Happy Hacking キーボード US 配列

¥27,500、2019年現在

コンパクトキーボードは、ノート PC とほとんど同等のレイアウト

この US 配列の特徴としては、チルダ「~」キーが右上！カーソルキーが無い！（Unix 使いはそれを使わない）

controlキーが **A** キーの直左。

で「漢字キー」

fn+その他キーが、別のキー等の機能に割り当てられていたりする。fn+上段キーで F1~F10キー

Mac と Unix のキーボードの違い



Apple Magic キーボード JIS 配列



PFU Happy Hacking キーボード JIS 配列

- 漢字キー、fnキー
- Unix+US の場合 **delete** の位置

- 各種記号キー、return/enterキーのサイズ
- Unix+US の場合、**チルダ「~」キーの位置！**
カーソルキーが無い！Unix 使いはそれを使わない！



Apple Magic キーボード US 配列



PFU Happy Hacking キーボード US 配列

おわりに・参考文献

ここではキー配列に注目した。コンパクトキーボードは fn, alt キーとの組み合わせで、別のキーコードが送信されるようになっている。例えば、 ^ は fn+↵ (enter と return)、 ⌫ は fn+⌫ (backspace と delete) などである。

また、キーボードのキーストロークを重視する向きもあるが、キーの打鍵音にも注意したいところ。カチャカチャ五月蠅いと周囲にも迷惑が掛かるし、使いやすいとしても打鍵音が気になってしまう。さらに、ノート PC だと手前にトラックパッドがあるが、それがあまり広すぎるのも邪魔である。そもそも、使いやすいキーボードを選べる立場ではないことも多々あるので、以上の特徴・特性を意識することで、すんなり慣れることができることにも留意されたい。

- Apple Magic キーボード JIS 配列、US 配列 - テンキー付き、シザー構造パンタグラフ方式、Bluetooth
- Microsoft Surface Ergonomic キーボード JIS 配列、US 配列 - テンキー付き、メカニカル方式、Bluetooth
- PFU HHKB Professional BT - 日英、静電容量無接点方式、Bluetooth
- Apple Magic キーボード(JIS) - テンキー無し、シザー構造パンタグラフ方式、Bluetooth

US 配列と JIS 配列の違いについては、個人的にはどちらにも慣れればよいと思っているので敢えて触れなかったが、歴史を紐解くと、1975 年に制定され結果的に 1994 年に廃止に至った ISO 2530 「48-key Layout」が関係している。我々にとっては QWERTY 配列よりも記号類の配列が問題なのだが、私が幼少のころに練習したブラザーのタイプライタはシフト「2」が「"」だがシフト「(」 「)」が「9」 「0」などという JIS と US の中間の配列だったのは興味深い。

おまけ



興味深いキーボード2モデルを入手したので紹介したい。これは Benesse 「進研ゼミ 小学講座」 チャレンジタッチ・スペシャルキーボードの2モデルである。USB type-A ではなく USB mini B なので、PC / Mac に繋ぐには、右上のような mini B → type-A 変換アダプタを必要とする。



Benesse 公式にはチャレンジタッチ以外には使用不可を謳っているが、キー数が少ない JIS 配列キーボードとして使用可能である。そもそも、⌘/Windows キーやコンパクトキーボードには必須の fn/⊕ キーがないので実用的ではない。

しかし、興味深いキー配列となっている。左のモデルはどう見ても US 配列ベースであり、「↵」キーの大きさ、その上の開きカッコ・閉じカッコキーの並びが JIS 配列とは明らかに異なっている。その他は JIS 配列に近づけているものの、バックslash 「\」・円マーク「¥」キーが追いやられている。JIS 配列特有の巨大な「↵」キーの生産ラインがなかったのだろう。

さすがに JIS 配列としては独自すぎて評判が悪かったのか、右のモデルになると普通の JIS 配列になってしまった。ホームポジションと運指が学習しやすく色分けされたカラーシートが乗っているのが高評価である。